

## 水産加工統計調査（平成27年）

食用加工品及び生鮮冷凍水産物の生産量は  
前年に比べそれぞれ1%、5%減少

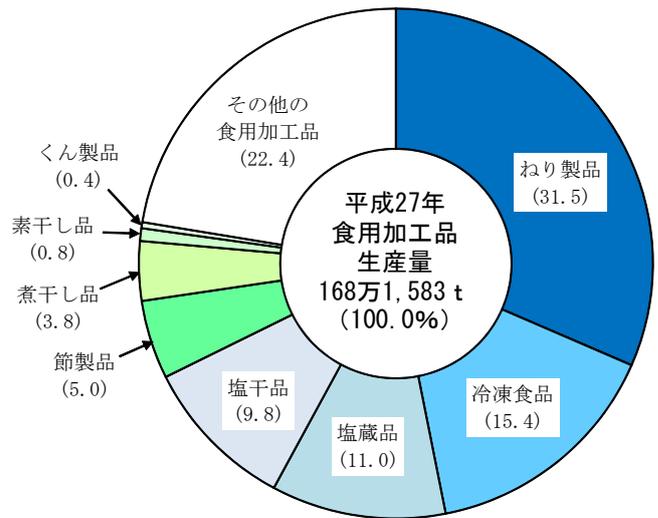
図1 食用加工品生産量の加工種類別構成割合  
(全国) (平成27年)

### 【調査結果の概要】

#### 1 食用加工品

平成27年の食用加工品の生産量（焼・味付のりを除く。以下同じ。）は168万1,583 tで、前年に比べ1%減少した。

主な加工種類別<sup>(注)</sup>にみると、ねり製品は53万137 tで前年並み、冷凍食品は25万8,481 t、塩蔵品は18万4,655 tで前年に比べそれぞれ2%、3%減少した。



注：割合の計が100%とならないのは、四捨五入によるものである（以下同じ。）。

表1 食用加工品の加工種類別生産量（全国）

区分	単位	平成26年	27	対前年差	対前年比
食用加工品	t	1,704,833	1,681,583	△ 23,250	99
ねり製品	〃	531,982	530,137	△ 1,845	100
冷凍食品	〃	263,164	258,481	△ 4,683	98
塩蔵品	〃	191,121	184,655	△ 6,466	97
塩干品	〃	162,353	164,566	2,213	101
節製品	〃	88,770	83,833	△ 4,937	94
煮干し品	〃	59,826	63,342	3,516	106
素干し品	〃	14,549	13,558	△ 991	93
くん製品	〃	7,582	6,475	△ 1,107	85
その他の食用加工品	〃	385,486	376,536	△ 8,950	98
焼・味付のり	千枚	7,057,380	7,284,166	226,786	103

注：加工種類とは、製造方法や保存方法により水産加工品を分類したものである。  
なお、水産加工品とは、水産動植物を主原料（原料割合で50%以上）として製造された、食用加工品及び生鮮冷凍水産物をいう。

この統計調査結果の統計表は、政府統計の総合窓口(e-Stat)の「新着情報」で御覧いただけます。

【 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do> 】

## 2 生鮮冷凍水産物

生鮮冷凍水産物の生産量は141万6,228 tで、前年に比べ5%減少した。

主な品目別にみると、さば類は38万965 t、いわし類は32万9,168 tで、前年に比べそれぞれ8%、3%増加し、さけ・ます類は10万3,882 tで前年並みであった。

図2 生鮮冷凍水産物生産量の主要品目別構成割合（全国）（平成27年）

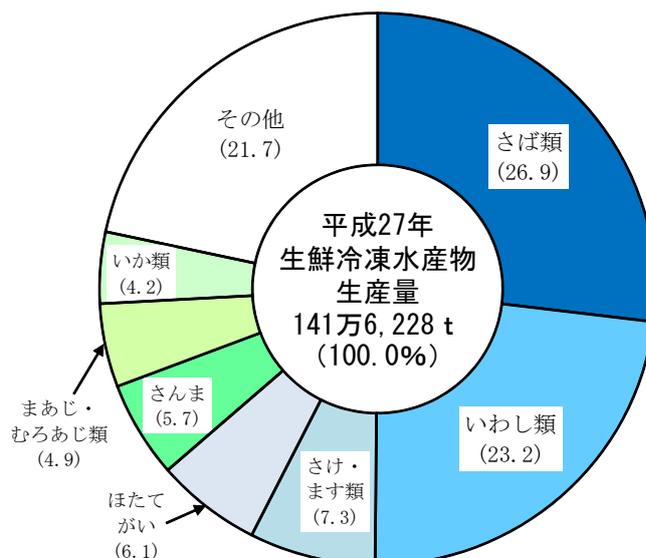


表2 生鮮冷凍水産物の主要品目別生産量（全国）

区分	平成26年	27	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
生鮮冷凍水産物	1,485,406	1,416,228	△ 69,178	95
うち さば類	353,519	380,965	27,446	108
いわし類	318,115	329,168	11,053	103
さけ・ます類	103,768	103,882	114	100
ほたてがい	109,959	86,799	△ 23,160	79
さんま	129,685	80,105	△ 49,580	62
まあじ・むろあじ類	73,177	69,215	△ 3,962	95
いか類	72,754	59,255	△ 13,499	81

◎ 調査結果の利活用

「水産加工業施設改良資金融通臨時措置法」(昭和52年法律第93号)に基づき、融資の対象となる指定魚種の検討、融資を行う水産加工品の生産動向の把握等の資料として利用されている。

◎ 累年データ

水産加工品生産量の推移 (全国)

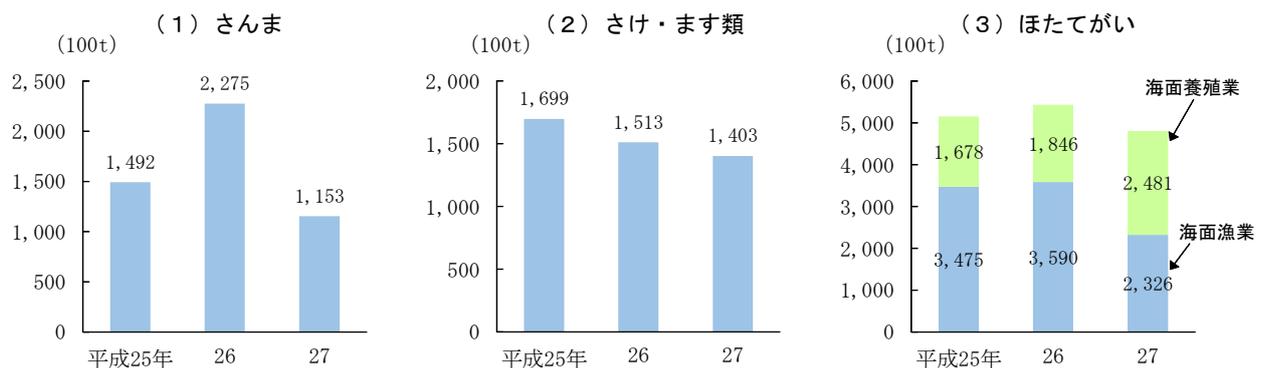
年次	食 用 加 工 品					
	計	ねり製品	冷凍食品	素干し品	塩干品	煮干し品
	t	t	t	t	t	t
平成18年	1,999,821	617,956	292,985	25,817	222,883	69,038
19	1,930,546	605,841	283,667	22,585	212,002	72,409
20	1,940,485	563,829	333,185	22,032	211,461	71,240
21	1,849,505	520,723	306,591	17,003	227,155	65,418
22	1,817,230	533,624	291,970	15,914	212,990	67,918
23	1,722,554	531,587	252,992	16,198	190,225	57,088
24	1,727,969	538,329	263,212	15,799	177,678	61,167
25	1,715,924	528,438	256,935	13,466	166,714	64,316
26	1,704,833	531,982	263,164	14,549	162,353	59,826
27	1,681,583	530,137	258,481	13,558	164,566	63,342

年次	食 用 加 工 品 ( 続 き )					生鮮冷凍水産物
	塩蔵品	くん製品	節製品	その他の食用加工品	焼・味付のり	
	t	t	t	t	千枚	t
平成18年	197,975	7,876	111,862	453,429	8,286,449	1,679,191
19	190,370	7,871	107,332	428,469	7,652,951	1,657,243
20	194,100	11,806	103,789	429,043	7,976,604	1,655,415
21	206,368	11,165	101,666	393,416	7,357,874	1,615,983
22	193,794	10,881	98,456	391,683	7,137,237	1,539,592
23	191,535	10,158	94,584	378,187	6,883,586	1,250,647
24	198,445	9,031	91,393	372,915	6,736,545	1,257,111
25	197,845	8,178	90,623	389,409	7,003,728	1,382,604
26	191,121	7,582	88,770	385,486	7,057,380	1,485,406
27	184,655	6,475	83,833	376,536	7,284,166	1,416,228

資料：農林水産省統計部「水産物流通調査 水産加工統計調査」。ただし、平成25年は『2013年漁業センサス』。  
注：食用加工品の「計」には焼・味付のりは含まれていない。

◎ 関連データ

漁業生産量の推移 (全国)



資料：農林水産省統計部「漁業・養殖業生産統計調査」(平成27年は概数値)

【調査結果】

食用加工品の主な品目別生産量

1 ねり製品（統計表 8 ページ参照）

ねり製品の生産量は53万137 tで、前年並みとなった。

品目別にみると、ねり製品生産量の約9割を占めるかまぼこ類は47万563 tで前年並み、魚肉ハム・ソーセージ類は5万9,574 tで、前年に比べ3%減少した。

図3 ねり製品生産量の品目別構成割合（全国）（平成27年）

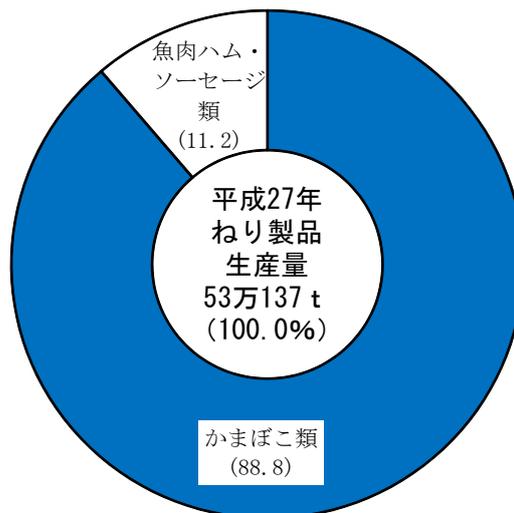


表3 ねり製品の品目別生産量（全国）

区 分	平成26年	27	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
ねり製品	531,982	530,137	△ 1,845	100
かまぼこ類	470,539	470,563	24	100
魚肉ハム・ソーセージ類	61,443	59,574	△ 1,869	97

2 冷凍食品（統計表 8 ページ参照）

冷凍食品の生産量は25万8,481 tで、前年に比べ2%減少した。

品目別にみると、魚介類（切り身、むきえび等の加工品）は12万9,977 t、水産物調理食品は12万8,504 tで、前年に比べそれぞれ1%、3%減少した。

図4 冷凍食品生産量の品目別構成割合（全国）（平成27年）

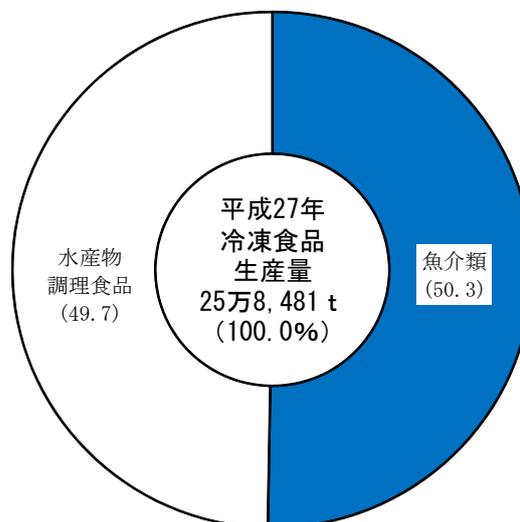


表4 冷凍食品の品目別生産量（全国）

区 分	平成26年	27	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
冷凍食品	263,164	258,481	△ 4,683	98
魚介類	131,159	129,977	△ 1,182	99
水産物調理食品	132,005	128,504	△ 3,501	97

### 3 塩干品（統計表 8 ページ参照）

塩干品の生産量は16万4,566 tで、前年に比べ1%増加した。

主な品目別にみると、あじは3万2,286 t、ほっけは3万944 tで、前年に比べそれぞれ4%、6%減少し、さばは2万8,080 tで、前年に比べ35%増加した。

図5 塩干品生産量の主要品目別構成割合（全国）（平成27年）

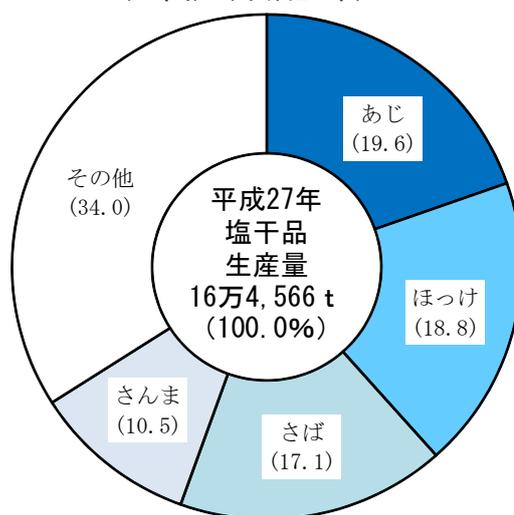


表5 塩干品の主要品目別生産量（全国）

区分	平成26年	27	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
塩干品	162,353	164,566	2,213	101
うち あじ	33,472	32,286	△ 1,186	96
ほっけ	32,764	30,944	△ 1,820	94
さば	20,832	28,080	7,248	135
さんま	16,712	17,245	533	103

### 4 塩蔵品（統計表 8 ページ参照）

塩蔵品の生産量は18万4,655 tで、前年に比べ3%減少した。

主な品目別にみると、さけ・ますは8万7,587 t、たら・すけとうだらは1万1,373 tで、前年に比べそれぞれ5%、8%減少し、さばは4万4,355 tで、前年に比べ3%増加した。

図6 塩蔵品生産量の主要品目別構成割合（全国）（平成27年）

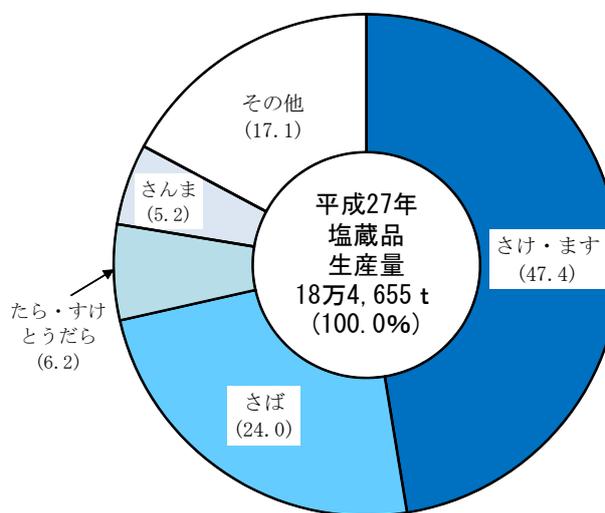


表6 塩蔵品の主要品目別生産量（全国）

区分	平成26年	27	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
塩蔵品	191,121	184,655	△ 6,466	97
うち さけ・ます	92,180	87,587	△ 4,593	95
さば	43,034	44,355	1,321	103
たら・すけとうだら	12,323	11,373	△ 950	92
さんま	11,909	9,674	△ 2,235	81